



### 新年のごあいさつ

新十津川町長  
熊田 義信



皆さま、新年あけましておめでとうございます。  
令和3年の輝かしい新春を新たな気持ちでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、開町130年という節目の年を迎え、さまざまな記念事業を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、中止や延期、開催規模の縮小を余儀なくされた事業が多数ありました。そのような中であっても、町民の皆さまをはじめ、町議会、関係機関各位のご理解とご協力を賜り、町政を推進することができました。心より感謝申し上げます。

新年を迎え、町政を担う重責を改めて感じながらも、笑顔が輝く、魅力あるまちづくりの実現に決意を新たにしているところでもあります。

昨年を振り返りますと、基幹産業である農業は、天候に恵まれ、農業に携

わる全ての皆さまのご尽力により、水の作況指数は107となり、質、量ともに平年を上回る豊穡の秋を迎えることができました。

町内農業団体が一丸となって取り組む「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」では、家族経営型スマート農業における2年間の省力化の実証を順調に終えようとしており、作業の効率化や数値化による高品質米生産の実現のほか、多数の農業者の理解を得て、町の補助制度を利用したスマート農業機械の導入を飛躍的に進展できました。今後継続し、農業の新たな3K「格好良い」「稼げる」「感動する」を目標に、持続可能な農業の実現に挑戦してまいります。

日本一早い最終列車として親しまれた札沼線は惜しまれながらも廃線となり、長い歴史に幕を閉じましたが、今後は未来へつなぐ新たなまちづくりとして、線路で分断されていた圃場の農



### 新年のごあいさつ

新十津川町議会議長  
笹木 正文



新年明けましておめでとうございます。  
令和3年を迎え、議会を代表し謹んでごあいさつ申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町議会に對しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、年初来、世界史上まれに見る感染症拡大に見舞われ、我が国においてさまざまな行事が実現できないう年となりました。

東京オリンピックをはじめ、各種イベントの延期や中止、あるいは規模縮小での開催となり、日常生活の制限を余儀なくされ、交通機関や観光宿泊施設、飲食店などに多大な影響をもたらしました。

業基盤整備や駅周辺の公園化による町並み整備を計画的に進めてまいります。さて、今年の5月6日から、さまざまな方のご意見をもとに検討を重ね進めてきた役場新庁舎がいよいよ供用開始となります。清潔で安心感のある優しい空間、そして災害時には防災拠点となる強い庁舎として、心のこもった親切な対応で、皆さまに愛される場所になると確信しておりますので、楽しみにしていただけだと思います。

経済対策としては、しんとつかわポイントカード会と新十津川商工会が共同で実施する「とくとつぶカード」を電子化した「新ポイントカード」による町内消費の促進や、加入時のポイント進呈を支援し、コロナに負けない商工業の活性化を進めてまいります。これからも町民の皆さまが「住んで良かった」と実感できるまちであるために、町民ニーズと社会情勢を見極めながら常に前向き、行政運営にまい進してまいりますので、本年も、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとって幸多き、笑顔に満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます。いさつといたします。

たな環境となりますので、ぜひとも多くの方が傍聴にお越しくださることを願っておりますし、心からお待ち申し上げます。  
新しい庁舎をシンボルとして、明るく住みよいまちとするには、やはり若い世代の活躍が何よりです。これからまちづくりを担う青年層の活躍にも大いに期待するものです。

新型コロナウイルス感染症に対しては、決しておびえることなく、北海道が提唱する新北海道スタイルを基本として、正しい知識を身に付け、気を引き締めてその予防に励んでいきましょう。残念ながら、雪まつりは中止となりましたが、新しい生活様式の実践を徹底し、本町のイベント等が一日も早く再開できるようお願いいたします。

感染防止の徹底と経済活動の両立を目指す厳しい幕開けでございますが、ワクチンの完成もいよいよ目前となり、予防接種が遠からず実現されるものと信じつつ、皆さま方にとって実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

### 新十津川町の

## 「五年」

- 12年前 2009年・平成21年
  - ・花月小学校、吉野小学校、大和小学校、新十津川小学校閉校
  - ・4校を統合した新十津川小学校開校
  - ・新十津川町安全・安心推進協会設立
- 24年前 1997年・平成9年
  - ・文京地区土地区画整理組合設立
  - ・防災行政無線供用開始
  - ・サンウツドパークゴルフ場供用開始
  - ・平成橋完成
  - ・そつち岳スキー場2人乗りリフト設置
- 36年前 1985年・昭和60年
  - ・新十津川音楽協会（準備組織）主催音楽祭開催
  - ・新十津川中学校第1回定期演奏会開催
  - ・学校法人石狩学園新十津川幼稚園開園
  - ・菊水土地区画整理組合設立
- 48年前 1973年・昭和48年
  - ・新竜水道企業団給水開始
  - ・給食センター、公民館設置、町立かおる園落成
  - ・尚武館建設工事開始
  - ・新十津川橋に歩道橋設置
- 60年前 1961年・昭和36年
  - ・町税の自動引き落とし制度開始
  - ・石狩川大水害、死者2人
  - ・新十津川消防会館、上徳富消防会館、上徳富巡査駐在所落成
- 72年前 1949年・昭和24年
  - ・開村60年記念式典開催
  - ・国保上徳富診療所落成
- 84年前 1937年・昭和12年
  - ・下徳富校増築工事落成
  - ・新十津川校落成
- 96年前 1925年・大正14年
  - ・西徳富土功組合通水
  - ・新十津川郵便局菊水から橋本へ移転
- 108年前 1913年・大正2年
  - ・徳富橋架換え工事落成
  - ・豪雨、降ひょう山間地帯被害甚大、大凶作